

CASBEE 京都-新築

標準システム

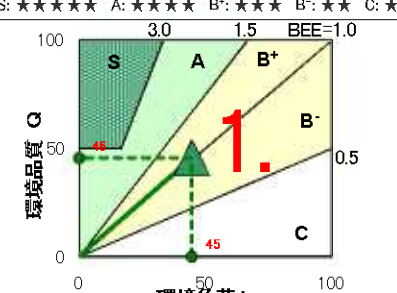
■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市下京区朱雀分木町	階数	地上10F		
建設地	京都市下京区朱雀分木町45-2番	構造	RC造		
用途地域	商業地域、準防火地域、31m高度地区	平均居住人員	144人		
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年5月17日		
敷地面積	830 m ²	作成者	内山正裕		
建築面積	504 m ²	確認日	2013年5月18日		
延床面積	3,869 m ²	確認者	内山正裕		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 72%

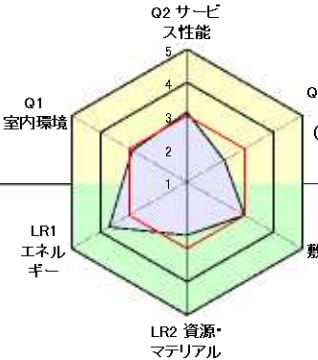
③上記+②以外の 72%

④上記+ 72%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

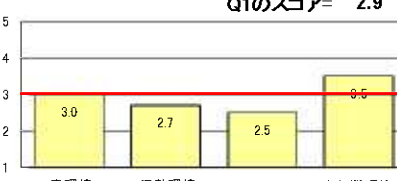


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**


Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9



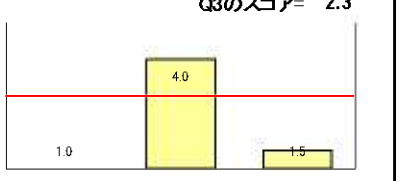
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1



Q3 室外環境(敷地内)


Q3のスコア = 2.3



LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.2**


LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7




LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性に優れた住環境や建物の長寿命化を図る。 京都の町並みに配慮した外観、屋上ひさし等京都らしさの演出。 	0	
Q1 室内環境 ・屋内ほぼ全面にF☆☆☆☆を使用。	Q2 サービス性能 ・バリアフリー条例の基準を満たす。 ・住宅性能表示:劣化対策等級(構造躯体等)3とする。 ・LD洋室天井高=2500、階高=3010。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地東側ほかに植栽。 ・景観地区認定。
LR1 エネルギー ・住戸の給湯器をエコジョーズとする。 ・太陽光発電設備を設置。	LR2 資源・マテリアル ・地域産木材使用。	LR3 敷地外環境 ・特に無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される